

河原田盛美関係史料
(辞令書・書簡) データ一覧

表 1 河原田盛美 辞令書データ

本データは河原田家に所蔵されている盛美の辞令書を整理したものである。本史料は仮番号付与と撮影を終えている。多くの史料は同一の木箱に入っていたが、水産関係など伊南村史の史料調査で別置されていたので、仮番号を分けて付与している。(■は判読不明文字)

仮番号	元号・日付	経歴	備考 1	備考 2
	明治 2・12・11	若松県殖産局御用掛		
	明治 3・1・16	若松県通商掛		
43、87	明治 6・11・18	大蔵省租税寮十二等出仕		
内務省 4	明治 7・1・12	内務省地理寮十二等出仕		
63	明治 7・1・24	庶務課申付		
	明治 7・2・19	大蔵省租税寮地理課		
内務省 3	明治 7・3・5	内務省十二等出仕		
内務省 1	明治 7・3・5	内務省記録課		
内務省 2	明治 7・3・21	内務権中録		
別 2	明治 7・9・13	琉球藩事務取調掛		
64	明治 7・11・2	内務中録		
75	明治 7・12・18	内務省第三課可心得事		
別 1	明治 8・5・19	琉球藩在勤(手当金 26 円増給)		
	明治 8・11・13	琉球内務省出張所所長心得		9 年 5 月 31 日帰京
69	明治 9・5・31	帰京申付		
	明治 9・9・2	内務省庶務局事務取扱		
66	明治 9・12・9	内務省警保局事務取扱		
73	明治 9・12・9	警保局庶務係申付		
60	明治 10・4・14	鹿児島県御用掛(奉金 20 円)	辞令の日付は 17 日	
103	明治 10・4・17	鹿児島県第四課心得を以て月給二十円給与		
58	明治 10・4・17	第四課申付(鹿児島県)		
59	明治 10・5・3	川路大警視陣所へ出張		
	明治 10・5・4	会戦実地へ出張		
	明治 10・5・9	桜島出張		
68	明治 10・5・25	鹿児島県六等属		
45	明治 10・5・25	鹿児島県第一課		
別 3	明治 10・6・6	垂水近傍巡回		
	明治 10・6・11	大阪出張		
	明治 10・6・11	手当金 10 円下賜		
57	明治 10・6・17	大阪出張		
	明治 10・6・18	奄美大島在勤・取調関係		
別 5、別 6	明治 10・6・19	輿論支庁長		
67、別 4	明治 10・6・20	兼司法省十三等出仕		
16	明治 10・6・20	鹿児島県警部心得		
	明治 10・6・20	慰勞酒肴料金千疋下賜		
別 8	明治 10・8・1	免警部心得(第四課当分差止に付)		
別 7	明治 10・8・13	輿論支庁詰不用の件		
56	明治 10・8・15	依願免官、依願兼官(鹿児島県・司法省)		
71	明治 10・8・15	依願免兼出仕(司法省)		
15	明治 12・7	東京府より教科書献納により褒賞		
7	明治 12・9	東京府より教科書献納により木盃下賜		
別 10	明治 14・11・18	千葉県七等属		
48	明治 14・11・18	千葉県農商課		
	明治 14・11・18	千葉県水産集談会委員		
	明治 15・1・13	大日本水産会会員		
	明治 15・3・18	依願免官(千葉県)		
水産 4	明治 15・4・3	千葉県農商課員	辞令書には 11 月 16 日	
33、別 11	明治 15・11・16	千葉県出仕(準判任官)		
22	明治 16・3・13	農商務省御用掛兼官	日付無し	
74	明治 16・3・13	水産博覧会審査官		
36	明治 16・4・21	水産博覧会慰勞金 10 円		
38	明治 16・5・14	免兼官(農商務省御用掛・水産博覧会審査官)		
34	明治 16・6・26	水産博覧会慰勞金 20 円		
37	明治 16・9・24	免依願出仕(千葉県)		

仮番号	元号・日付	経歴	備考1	備考2
	明治17・4・21	慰労金10円(水産博覧会審査官により)		
44	明治17・4・23	学芸委員委嘱(大日本水産会)		
	明治17・4	大日本水産会議員		
	明治17・6・26	慰労金10円(水産博覧会審査事務勲励により)		
78	明治17・6・26	千葉県水産集談会臨席委嘱(大日本水産会より)		
95	明治17・11・1	傭(農商務省・俸金25円)		
19	明治17・11・1	水産課(農商務省)		
27	明治18・1・31	傭(書記局・俸金25円)		
29	明治18・1・31	書記局第三課農工商公報掛		
21	明治18・2・24	傭(水産局・俸金25円)		
80	明治18・2・24	水産局試業課		
51	明治18・4・18	大日本水産会庶務専務委嘱		
	明治18・4・24	水産共進会事務員委嘱(大日本水産会)		
86	明治18・5・13	大日本水産会会計兼務委嘱(大日本水産会)		
89	明治18・6・17	第二回農産品評会委員委嘱(大日本農会)		
水産1	明治18・7・22	千葉県水産集談会臨席委嘱(大日本水産会より)		
水産16	明治18・7・28	水産共進会事務員委嘱(大日本水産会)		
水産17	明治18・8・3	出品庶務科事務委嘱(大日本水産会)		
	明治18・8・16	農商務省御用掛(準判任官・俸給25円)		
水産8	明治18・8・16	水産局(農商務省)	辞令の日付は 15日	
100、別9	明治18・9・12	九州沖縄八県連合会共進会出品錫審査官 (佐賀県へ出張申付・農商務省)		『九州沖縄八県共進会復命記』(履歴)
11	明治18・9・16	農商務卿より出張命令状		
42	明治18・11・8	佐賀県巡回申付(農商務省)		『水産教授記』か(履歴8冊の1)
94	明治18・12・22	慰労金20円下賜(農商務省)		
46	明治19・3・4	農商務七等属		
	明治19・3・4	水産局(農商務省)		
水産24	明治19・3・24	水産共進会審査委員委嘱(大日本水産会)		
	明治19・4	大日本水産会庶務、会計録事専任委嘱(大日本水産会)		
20	明治19・4・13	水産共進会出品審査官(岩手県へ出張申付・農商務省)		『岩手県巡回記』(履歴)
10	明治19・4・17	農商務次官より釜石へ九郡連合水産共進会出品審査官として出張命令状		
	明治19・5・5	大日本水産会より事務尽力につき報酬		
水産15	明治19・5・10	農商務属		
水産5	明治19・5・10	叙任判官六等		
65	明治19・5・11	釜石水産共進会出張並びに巡回申付(農商務省)		『岩手県釜石共進会復命書』(履歴)
	明治19・5	岩手県知事より袴贈与		
	明治19・5・19	東洋絵画会長より感謝状		
47	明治19・11・29	千葉県水産集談会臨席委嘱(大日本水産会)		
98	明治19・12・27	賞与金25円下賜(農商務省)		
97	明治20・3・18	除服出仕		
水産13	明治20・3・28	水産品評会委員委嘱(大日本水産会)		
30	明治20・4・23	鳥根県へ巡回命令(農商務省)		『水産製造概説』
	明治20・4	大日本水産会幹事		
水産12	明治20・6・22	水産巡回教師として石川県へ派出委嘱(大日本水産会)		
水産6	明治20・6・22	第一回年報編纂委員委嘱(大日本水産会)		
55	明治20・7・1	事務勲励につき15円贈与(大日本水産会)		
18	明治20・8・11	水産巡回教師として石川県へ出張命令(農商務省)	辞令の日付は 5月15日	『石川県水産講話筆記』(履歴→105の本か)
17	明治20・8	鳥根県知事より縮緬贈与		
	明治20・12・26	功労賞与10円下賜(農商務省)		
水産14	明治21・1・12	水産重要品調査として鳥取県へ出張命令(農商務省)		『水産講話筆記』
72	明治21・2・3	九州沖縄八県連合繭・生糸・茶・砂糖・織物・錫共進会出品 錫審査官として出張辞令書(大分県へ出張申付・農商務省)		
4	明治21・2・■	九州沖縄八県連合繭・生糸・茶・砂糖・織物・錫共進会出品錫審査官として・命令状(大分県へ出張申付・農商務省)		『九州沖縄八県共進会復命記』(履歴)

仮番号	元号・日付	経歴	備考1	備考2
54	明治 21・3・16	水産共進会審査官として鳥根県へ出張命令（農商務省）		『出張復命書』（草稿・川原田家）
水産 11	明治 21・3・19	大分県へ巡回命令（農商務省）		『水産教授記』か（履歴 8 冊の 1）
	明治 21・4	大日本水産会幹事		
31、水産 2	明治 21・4・2	水産伝習所事務取扱委嘱（大日本水産会）		
26	明治 21・5・12	一府九県連合水産共進会褒賞式臨席委嘱（大日本水産会）		
90	明治 21・5・29	第二回水産品評価品評委員委嘱（大日本水産会）		
28	明治 21・7・23	除服出仕		
	明治 21・7・25	大日本水産会へ出向命令（農商務省）		
84	明治 21・7・25	水産標本採集教師として岩手県へ派出委嘱（大日本水産会）		『水産標本採集目録並解説』
91	明治 21・7・27	大日本水産会へ出向及び石川県へ巡回命令（農商務省）		『水産講話筆記』
2、水産 23	明治 21・9・24	佐渡水産物産共進会審査官及び新潟県へ巡回命令（農商務省）		
62	明治 21・12・7	水産伝習所教師委嘱（大日本水産会）		
24	明治 21・12・13	水産教師として静岡県へ巡回命令（農商務省）		『水産改良説・初編』
水産 9	明治 22・1・28	農商務技手（農商務省）	辞令には「技手見習」	
99	明治 22・1・28	俸給 35 円（農商務省）		
水産 19	明治 22・1・28	水産局（農商務省）		
水産 3	明治 22・2・29	製造課（水産局）		
水産 7	明治 22・3・2	農商務省六等技手		
水産 18	明治 22・3・2	中級俸下賜（農商務省）		
92	明治 22・5・31	第三回水産品評価品評委員委嘱（大日本水産会）		
水産 21	明治 22・6・22	鳥取県へ巡回命令（農商務省）		『水産講話筆記』
53	明治 22・7・9	農商務五等技手		
39	明治 22・7・9	下級俸下賜		
水産 22	明治 22・7・23	京都府へ巡回命令（農商務省）		『水産教授記』か（履歴 8 冊の 1）
9	明治 22・7・17	私立因幡・伯耆水産共進会審査長委嘱（鳥取県）		
77	明治 22・7・29	私立因幡・伯耆水産共進会審査長委嘱・辞令書（鳥取県）		
41	明治 22・8・10	大阪府・兵庫県へ出張命令（農商務省）		『大阪府及兵庫県下対支海産物貿易巡回雑記』、『水産改良に付大阪府及兵庫県出張復命書（控）』
96	明治 22・9・28	除服出仕		
1	明治 22・10・8	青森県米・大豆・麦・粟・麻・繭・生糸・織物・漆器・水産物共進会水産物審査官として青森県へ出張命令		『水産教授記』か（履歴 8 冊の 1）
	明治 22	井上農商務大臣より青森県知事からの寄贈品受領許可指令書		
6	明治 22・10・14	井上農商務大臣より鳥取県知事からの寄贈品受領許可指令書		
49	明治 22・11・18	静岡県へ主張命令（農商務省）		『水産改良説・第二編』
81	明治 22・12・25	勤労賞与金 15 円（農商務省）		
	明治 23・1・20	農商務四等技手		
61	明治 23・1・23	愛知県へ巡回命令（静岡県のついで、農商務省）		『水産教授記』か（履歴 8 冊の 1）
83	明治 23・3・14	第三回内国勸業博覧会審査官（第三回内国勸業博覧会事務局）		
88	明治 23・3・14	第四部勤務（第三回内国勸業博覧会事務局）		
	明治 23・6・1	農商務省判任官三等技手（官制改革につき）		
35	明治 23・6・21	農務局勤務（農商務省）		
102	明治 23・6・21	大日本水産会会員章贈与		
3、水産 10	明治 23・7・10	京都府・静岡県・鳥根県へ巡回命令（農商務省）		『巡回教師派遣復命書』
	明治 23・7・10	巡回心得書（陸奥農商務大臣）		
	明治 23・9・28	除服出仕		
85	明治 23・9・30	格別勲励に付き銀牌下賜（第三回内国勸業博覧会事務局）		
52	明治 23・9・30	免・第三回内国勸業博覧会審査官（第三回内国勸業博覧会事務局）		
14	明治 23・12・10	辞表提出		
12	明治 23・12・27	陸奥農商務大臣より鳥根県からの寄贈品受領許可書		
5	明治 24・2・12	愛知県へ巡回命令（農商務省）		『水産教授記』か（履歴 8 冊の 1）

仮番号	元号・日付	経歴	備考1	備考2
	明治24・2・12	巡回心得書（陸奥農商務大臣）		
50	明治24・3・10	兵庫県巡回命令（愛知県について、農商務省）		「水産教授記」か（履歴8冊の1）
82	明治24・3・20	非職命令（農商務省）		
79	明治24・3・30	残務取扱を命ず（農商務省）		
40	明治24・4・1	残務取扱を免ず（農商務省）		
退官後				
	明治25・6・30	福島県へ巡回命令（福島県知事の稟請と大日本水産会の請求、農商務省）		『福島県水産講話筆記』
70	明治25・10・25	私立伊南農産品評会審査長派出（大日本農会）		
8		履歴書		
76	明治28・5・1	第四回内国勸業博覧会審査官仰付		
23	明治29・29	内国勸業博覧会特別勲励賞預金		
25	明治29・12・18	道路開鑿寄付		
水産20	明治30・8・11	第二回水産博覧会審査官		
32	明治30・11・3	神戸出張命令		
101	明治30・12・20	大日本水産博覧会事務局より事務勲励につき百円賞与		
93	明治38・5・29	大日本農会より記念章を贈る		

表2 河原田盛美 書簡データ (暫定)

河原田盛美の書簡は複数場所に分けて置かれていたので、調査時に仮番号付与と撮影することが出来た史料だけの目録を作成したので、暫定版という形で公表しておく。なお日付は書簡記載を基本とし、消印などで年月日の補充をおこなった。これら補記部分は丸カッコで注記した。

封筒番号	差出人	年月日	河原田盛美以外の宛名	備考 (書簡の状態に関する情報)	備考 (資料補足情報)
1-1	飯塚清通	明治21年5月1日			
1-2	水産局			カラ封筒	「辞令在中」
1-3	水産局製造課				
1-4	第二回水産博覧会総裁 彰仁親王	明治30年3月31日		封紙なし	銀牌授与書
1-5	福島県水産会	(明治27年2月12日)		名誉会員推薦書	
1-6	新潟県庁和田茂太郎	10月14日			
1-7	水産局			カラ封筒	
1-8	水産局製造課			カラ封筒	
1-9	田中芳男				
1-10	石井省一郎	(明治19年4月16日)			
1-11	農務局下啓助	(明治26年2月10日)			
1-12	小田信樹	(明治25年)9月13日			
1-13	和田茂太郎	(明治29年)9月13日			
1-14	芝太一郎	10月28日			
1-15	水産局			電報	
1-16	青柳一等属	5月11日			青柳真一 (水産局)
1-17	青柳一等属/光永一等属				光永弘道 (水産局)
1-18	章勲局総裁大給和恒	明治33年6月12日		封紙なし	銀杯授与書 (第二回水産博覧会審査員職務慰勞)、釜石水産共進会事務所河原田宛
1-19	農商務省大臣官房会計課	(明治23年12月30日)			
1-20	農商務省書記官	明治16年3月12日			礼服用用参省
1-21	農商務省会計課	明治19年6月8日		はがき	
1-22	島根県知事籠手田安定			カラ封筒	
1-23	(九州沖縄)連合共進会	明治18年11月2日		授与式関係書類 4点	
1-24	製紙分社	明治23年12月24日		領収書など2点	
1-25	河原田盛美	明治44年10月7日	愛知県知事 沢野一三宛		下書き (カ)
1-26	農務局	10月31日			礼服用用出頭
1-27	大日本農会・大日本山林会			会員證	
1-28	農務局	明治23年6月25日		封紙なし	辞令書送付
1-29	大日本水産会			カラ封筒	
1-30	農商務省			カラ封筒	
1-31	農商務省書記官	明治18年8月14日			礼服用用参省
1-32	水産局			カラ封筒	
1-33	澤塾一三	明治22年8月5日			
1-34	製造課				「島根県出張 河原田盛美」と記載
1-35	池田元重	明治25年9月15日			
1-36	大日本水産会			封紙なし	新年祝賀
1-37	水産局			カラ封筒	
1-38	北水協会	(明治20年12月26日)		カラ封筒	
1-39	島根県知事籠手田安定	明治23年12月10日		封紙なし	
1-40					目録「縮緬料金式拾円」1枚
1-41	水産局 下啓助			カラ封筒	「辞令書入」
1-42	農商務省水産局製造課	(明治21年3月24日)		カラ封筒	島根県出張時
1-43	岩邨愛知県知事	7月24日		封紙なし	
1-44	田中芳男	明治19年4月13日		封紙なし、大日本水産会 罰紙	
1-45	水産会頭小松宮	明治17年4月14日		カラ封筒	辞令書
1-46	水産局			カラ封筒	「辞令在中」
1-46	福島県水産会	(明治21年3月14日)		カラ封筒	

封筒番号	差出人	年月日	河原田盛美以外の宛名	備考（書簡の状態に関する情報）	備考（資料補足情報）
1—47					平安遷都千五百年記念祭式次第、1点もの
1—48	農商務大臣秘書官	明治33年6月16日		封紙なし	水産博覧会賞賜品目録
1—50	近藤由次郎	11月20日			
1—51	福島県水産会	(明治27年3月25日)		カラ封筒	
1—52	大日本水産会			カラ封筒	
1—53	大日本水産会	明治19年11月10日			寄付金受領書
1—54	伊藤石介（隠岐國私立水産共進会事務長）	明治21年4月9日			書簡と（陳列品の）目録
盛美手紙等（薄葉紙に包まれた書類）					2013年8月の調査（質地証文、書簡、義和団事変関連資料）。1—55から1—83が包まれていた。
1—55					短冊
1—56					系図・1枚モノ（寛政年間に活躍した酒井久右衛門盛義に関する）、他書類あり※複写資料。撮影の関係で1枚ものと記したが、再確認したら数枚あり。
1—57	(水産会)			カラ封筒	「水産会ニ於テ」、「辞令入」
1—58	水産局（高田晟之助）	5月11日			盛美が「岩手県、釜石水産共進会出張」時に送付されたもの
1—59					嘉永三年、弥七宛証文
1—60					証文（年不明）
1—61		10月23日			宮島太郎衛門より川原田御親子宛、江戸時代の口上書
1—62					「会津藩ニ於テ御近習一ノ寄合席辞令」上田豊之輔より河原田治部宛
1—63	若松県庁	辛未6月（明治4年）			弥七宛窮民救助の感謝状
1—64	田島銀行	明治37年			利息勘定書等綴書類
1—65					嘉永三年戊二月、弥七宛証文
1—66	河原田久弥	明治10年11月18日	馬場太郎助八		地券状引き替え関連
1—67	榎本武揚	明治23年12月20日		カラ封筒	
1—68	園田守宣	明治15年3月21日	河原田久弥	カラ封筒	
1—69	園田守宣	15年	河原田久弥ご家族		1—68の中身か
1—70	東亜同文書会（鍋島直大・清浦奎吾）	明治42年10月5日			事業支援の依頼状
1—71	伊藤圭介				年賀状
1—72	武井守正	1月27日			賀状の返礼（活字）
1—73	富田鐵之助	7月5日			
1—74					書簡（紙質の関係で判読不能）
1—75					扇子の張紙
1—76					扇子の張紙
1—77	福島安正	(明治26年8月日欠)		カラ封筒	
1—78	近衛篤磨（カ）			カラ封筒	
1—79					東北国民同盟会檄文（明治33年11月）1枚モノ
1—80	公爵近衛篤磨	明治33年11月19日		封紙なし	
1—81					国民同盟会宣言・約款、1枚モノ
1—82					画（新聞から切り抜き、黒部拈華）
1—83	(国民同盟会ニ於テ)公爵近衛篤磨	(明治33年11月21日)		カラ封筒	1—81などを入れた封か
1—84					香取神社祝詞、1枚モノ
箱2・柳行李に入っていた書簡					
2—1	河原田稼吉	8月19日			
2—2	河原田五十子	(明治43年)12月6日			
2—3	河原田治部	1月18日			菊池久六郎宛書簡在中
2—4	河原田盛美	明治26年2月26日	蓬萊寺御住職	封紙なし	
2—5	神谷卓男	7月26日			朝鮮平安北道より
2—6	河原田稼吉	(明治44年)2月3日			徴兵猶予関係書類
2—7	河原田五十子	(明治44年5月日欠)		カラ封筒	
2—8					人物写真1枚（沢井秀治）

封筒番号	差出人	年月日	河原田盛美以外の宛名	備考（書簡の状態に関する情報）	備考（資料補足情報）
2-9					人物写真1枚（坂内富雄）
2-10	河原田稼吉				書面は「かきち」と変体仮名仕様。
2-11	河原田稼吉	(明治43年)11月23日			
2-12	河原田稼吉	(明治44年)8月31日			書面は「かきち」と変体仮名仕様
2-13	河原田稼吉	(明治44年)5月7日			
2-14	河原田稼吉	(明治44年)3月3日			電報と書簡
2-15	河原田五十子	(明治44年)6月15日			
2-16	河原田五十子	(明治44年)4月16日			
2-17	河原田稼吉	(明治44年)6月7日			
2-18	河原田五十子	5月15日			
2-19	河原田稼吉	8月31日			
2-20	河原田五十子	(明治44年)7月6日			
2-21	河原田稼吉（河原田弥七）				書面は「かきち」と変体仮名仕様。河原田稼吉が弥七に宛てたものを弥七が盛美に送っている
2-22	(宛名不明)	(明治21年)4月12日		カラ封筒	
2-23	河原田稼吉	(明治44年)1月21日			
2-24	河原田稼吉	(明治44年)1月28日			
2-25	河原田盛美	9月25日	綱川海孝	封紙なし	
2-26	河原田稼吉	(5月22日)			
2-27					祭祀料5000円（1枚モノ）
2-28	河原田稼吉	明治43年正月元日			
2-29	河原田稼吉	(明治43年)7月29日			書面は「かきち」と変体仮名使用
2-30	河原田五十子	(明治43年)7月23日			
2-31	岡山県真島郡役所	(明治41年)3月		カラ封筒	
2-32	河原田稼吉	10月7日			父上様と記載
2-33	河原田五十子	(明治43年)11月20日			
2-34	河原田治部	明治31年10月1日			
2-35	木部弥衛門	5月12日		封紙なし	
2-36	河原田五十子	(明治43年)7月10日			
2-37	河原田稼吉	(明治43年)7月1日			書面は「かきち」と変体仮名使用
2-38	津軽英麿	(大正元年)12月24日			
2-39	廣岡逸人	7月11日			
2-40	河原田治部	明治33年2月14日			
2-41					大祓執行次第（1枚モノ）
2-42	富士屋弥右衛門	辰正月	河原田弥七		
2-43	河原田稼吉	(明治44年)6月24日			
2-44	河原田稼吉	(明治44年)9月7日			
2-45	河原田五十子	(明治44年)6月18日			
2-46					和歌の寄送依頼（盛美の和歌あり）。書簡を包んでいた紙
箱2 終わり					